

『ひろしま・ブルガリア協会』の皆様へ

昨年9月に当地に着任以来、早や半年余りが経過しました。この間、大統領、首相、国民議会議長はじめ各界の指導者の方々にお会いし、又、国内各地を訪問しましたが、ブルガリアの人達の日本人に対する親しみの情の深さと日本に対する期待の大きさは想像以上であり、当国が有数な親日国である事を改めて感じております。両国がこの様な友好関係にありますのも偏に常日頃の皆さんの友好関係促進の為の御尽力の賜物と厚く御礼申し上げます。

『ひろしま・ブルガリア協会』の皆様には2006年にバラの町であるカザンラク市でブルガリアでは初めてとなる被爆証言を含めた原爆展を開催戴きましたが、市民に原爆の怖さと平和の尊さを訴える大変良い機会だったと思っております。又、ソフィア市聖イヴァン・リルスキ児童養護施設に対する菓の寄贈等の貴協会のこれまでの文化・福祉面での積極的な活動に対し敬意を表したいと思えます。

本年6月の第四次訪問団の当地訪問の際には、ドナウ川沿いにあり今後、産業発展が期待されるルセ市にて原爆展を開催、更には日本語教育に大変熱心なソフィア市第18総合学校、ヴェリコ・タルノヴォ大学と親交を深められる御計画がおりとお聞きしています。このような草の根レベルの交流が活発になる事は、二国間の友好関係を更に促進させる為に大変喜ばしい事で、今後とも貴協会の活動に期待したいと思えます。

皆様ご承知の事と思えますが、両国は来年外交関係回復50周年を迎えます。現在二国間でそれぞれ周年行事の開催を検討しているところですが、既にパルヴァノフ大統領の来日と広島を含む全国7ヶ所でのトラキア黄金文明展の開催が決まっております。当地に於きましても日本の伝統舞台芸術の公演等も含め幾つかの記念行事の開催を検討しております。私としましては、両国にとって有意義かつ皆さんの心に残る様な周年行事を是非実現したいと考えております。今後50周年行事を盛り上げていく上で『ひろしま・ブルガリア協会』の皆様にもご相談或いは御協力をお願いする事もあるかと思えますが、その際にはご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

この半年間、日本・ブルガリア関係を見てきましたが、最近ブルガリアでは静かな日本ブームが起きている様な気がします。

経済関係では、後発だったトヨタが今年初めて当国で最大のシェアを確保したのをはじめ、ソニーが隣国10カ国をカバーするリージョナル・コールセンターを開設しています。日本の資器材関係の代理店、又資生堂などの大衆消費財のマーケットの参入も増えてきています。文化面では茶道、生花に加えポップカルチャーに対する関心が高まってきている様です。

都市間交流関係では、この2月にソフィア市と横浜市保土ヶ谷区が『教育・文化・スポーツ等のパートナー都市協定』を締結しました。暫く動きの少なかった岡山・プロブディフ姉妹都市関係は、本年市長を団長とする使節団が相互訪問を行いプロブディフ・フェア、岡山物産展の開催を予定しています。尚昨年末に横浜に次ぎ、福岡に名誉総領事館が開設されました。

観光関係では、ブルガリア関係の旅行パックが少なく寂しく思っていたが、今年から旅行会社数社が新たにブルガリア旅行パックを企画中との事で日本人観光客が増える事を楽しみにしています。

待望していた日本レストランが昨年ソフィアに2軒オープンして、大変嬉しく思っていますが、本年も更に数軒が出店計画中和聞いており、日本食文化に対する関心も高まってきている様に思えます。

以上申しあげました様に、当地ではいろいろ新しい流れが出てきていますので、この流れを大切にして二国間関係の更なる発展の為に微力ではありますが最善を尽く所存であります。

最後になりますが、『ひろしま・ブルガリア協会』の益々のご発展と皆様の御健勝をお祈り申し上げます。

在ブルガリア共和国日本国大使館

特命全権大使 竹田 恆治